



いいで

学校便り 第13号

喜多方市立山都小学校

平成27年11月24日(火)
文責 校長 菊地 誠

真似して、試して、学んで、捨てる

2学期も残りわずかになってきましたが、本校では授業研究が盛んに行われています。今年度は「主体的に取り組む児童の育成」をテーマに、算数科を通して、「自分の思いや考えを伝え合うことができる児童を」めざして取り組んでいます。全員で授業を参観し、その後、教師の支援の在り方について、「良かった点」「改善すべき点」をグループで協議し、成果と課題を明確にします。そして、その課題を受けて次の授業をどう構成すればよいかを考えます。どの授業にも共通していることは、子どもの実態を明確にとらえ教材研究を行い、どうすれば子どもが話し合い活動を通して、考えを交流したり学びを深めたりすることができるかについて焦点をあてていることです。さらに何よりも、山都小の子どもの確かな学力の向上を願い、前向きに授業改善に取り組む先生方に「チーム山都」の姿を感じています。



ます。

1年生の算数の授業

以前お仕えした校長先生が、授業力の向上は、「真似して、試して、学んで、捨てること」とおっしゃっていました。他校の取組等を参考に「真似して、試して、学んで、捨てる」という、一連の過程を通して、自分の教科指導の力をさらに高めて欲しいと願っています。

以前お仕えした校長先生が、授業力の向上は、「真似して、試して、学んで、捨てること」とおっしゃっていました。他校の取組等を参考に「真似して、試して、学んで、捨てる」という、一連の過程を通して、自分の教科指導の力をさらに高めて欲しいと願っています。

市花いっぱいコンクール 優秀賞を受賞

11月16日(月)に市役所において、「市花いっぱいコンクール」の表彰式が行われました。本校は、学校の部で「優秀賞」を受賞し、代表でみどりの少年団団長の5年生が賞状をいただきました。山都小を訪れた方々は、みんな口々に玄関やふれあいロードの花を褒めてくださいます。

先日、5年生がみどりの少年団活動として、外に飾っていたベコニアを短く切り、室内に入れる作業を行いました。短く切ることで、春にまたきれいな花を咲かせます。そして、来年の5年生が大事に育てていきます。このようにして、みどりの少年団の活動が引き継がれていきます。旧山都の3つの小学校の伝統は、今後も大切にしていきたいと思っています。12月4日には、奨励賞を受賞した県花いっぱいコンクールの表彰式が福島市で行われます。



市花いっぱいコンクール表彰式

校舎がきれいになると、心もきれいに…



彫刻石けんを使つての汚れ落とし

本校では、1年生から6年生までの縦割班で清掃活動を行っています。午後1時40分から2時までの20分間、6年生の班長のもと無言で清掃を行います。上級生が下級生のお世話をするので、人間関係作りの良い機会ともなっています。廊下掃除は水拭きが終わると「彫刻石けん」という消しゴムのような形の洗剤で床をこすって汚れを落とし、雑巾で拭き取ります。廊下は、上履きの底でこすれてすぐに汚れてしまいます。この作業は主に下級生が行うのですが、みんな真剣にこすって汚れを落ととしています。小さい頃から奉仕の心を培っていくことはとても大切なことです。校舎をきれいにするすることで、心もきれいになります。これも山都小で大切にしたい伝統です。